

日本服薬支援研究会

## 第8回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

# 簡易懸濁法の正しい知識と 正しい手技を身につけよう！

(新経腸栄養(ISO 80369-3)規格製品を使用します)

**開催日時** 2023年5月28日(日) 9:55 ~ 15:30 (55分の休憩を含む)

**開催形式** ZOOM Meetingを用いたLIVE配信 \*事前参加申し込み必要

**参加申込** 以下のURL もしくは右記のQRコードよりお申込み下さい。

申込期限 2023年5月5日(入金も5月5日まで)

定員 40名(先着順)

- \* 第1回~第7回のWeb実技セミナーと実習は同一内容となっています。
- \* プロジェクターや大型モニター等を用いて、複数人でご参加いただくことは出来ません。お一人様ずつお申込みください。

<https://fukuyaku-event20230528.peatix.com/>



**参加費** 会員 6,000円 / JHOP会員 8,500円 / 非会員 11,000円

- \* キャンセルによる参加費の返金は出来ませんのでご了承ください。
- \* 非会員の方で、参加にあたり、研究会に入会(入会費5,000円)し、会員としての参加をご希望される方は、事前に入会承認を受ける必要があります。承認まで数週間かかりますので、お早目にご入会ください。会員として承認されていない場合は、非会員としての参加扱いとなりますので、ご注意ください。
- \* 参加費には、資料代、材料代(実習薬品、チューブなど)、郵送代等が含まれます。

**認定単位** 日本服薬支援研究会/簡易懸濁法認定制度(2単位)

日本老年薬学会認定制度「実技実習等:11-D 簡易懸濁法」

(実技セミナー終了後にお送りする参加証で、認定制度の申請に使用できます。)

日本薬剤師研修センター認定薬剤師制度(3単位)

**お問合せ先** 原則、メールにてお問合せください。

日本服薬支援研究会 担当: 飯田純一

E-mail: [fukuyaku.event@gmail.com](mailto:fukuyaku.event@gmail.com)

## 第8回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

簡易懸濁法の正しい知識と正しい手技を身につけよう！

### プログラム

9:30 会場

### 9:55 開会・連絡

10:00 講義「簡易懸濁法の基本と製剤学」

倉田なおみ先生（昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授・  
臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授）

10:55 実技講習 A ブレイクアウトルームにて

1ルーム10名（指導薬剤師1名＋認定薬剤師など1名＋受講生8名）で実施

12:30 昼食・休憩

13:25 実技講習 B ブレイクアウトルームにて

1ルーム10名（指導薬剤師1名＋認定薬剤師など1名＋受講生8名）で実施

14:35 講義「実技セミナー終了後の解説」

倉田なおみ先生

15:20 質疑応答

倉田なおみ先生

15:30 閉会・解散

### 注意事項

- \* 実際の医薬品を用いた実習となります。参加申込完了後、使用する医薬品等をご指定の住所へ郵送いたします。お取り扱いには十分に注意いただき、各自の責任で廃棄ください。
- \* お一人ずつ手元を確認しながら実習を進めますので、1人1台のPC、カメラ・マイク・イヤホン（ハウリング防止のため）をご用意ください。携帯電話からのアクセスは、実習に支障がありますので、使用しないで下さい。
- \* セミナーの様子の画面キャプチャー機能による録画やスクリーンショットによる写真の撮影はご遠慮ください（実習時にご自身で行った崩壊懸濁状況の撮影などは構いません）。
- \* 簡易懸濁法認定薬剤師要件の実技セミナー1回分（2単位）の取得が可能です。
- \* 日本老年薬学会認定制度「実技実習等：11-D 簡易懸濁法」の認定は、実技セミナー終了後にお送りする参加証で、認定制度の申請に使用できます。明細は日本老年薬学会認定制度の「認定申請要件」をご確認ください。
- \* 日本薬剤師研修センターの研修認定も取得可能です。申込の際に薬剤師免許番号を記入して下さい（申請中）。
- \* 途中参加・途中退出された場合、いかなる理由でも全ての研修認定の単位は発行されません。
- \* Web環境はできる限り有線で接続され、カメラ、マイクの状態をご確認下さい。

### 事前準備

\* 実技セミナーでは、以下の物品等を使用いたします。事前にご準備をお願いいたします。

- 温度計（可能であれば。お湯の温度の確認に使用します）
- 攪拌棒（割り箸などで結構です）
- ペンチ（無ければ、錠剤に亀裂を入れられもの）
- お水（水道水やペットボトルのお水など）
- クリップ・洗濯ばさみなど1個（経腸チューブ固定に使用します）
- 計量カップ（お湯200mLが量れて、全量400mL以上入る耐熱性のプラスチック製のもの）
- 熱湯（約100℃のお湯を使用します。ポット、ケトル等で事前に沸かして下さい）
- 廃液入れ（懸濁液のチューブ通過後の回収に使用します）